

## 第2回小城市立中林梧竹記念館協議会 議事録

|      |                  |                              |
|------|------------------|------------------------------|
| 開催日  | 令和7年12月17日（水）    |                              |
| 開催時間 | 13時00分～14時18分    |                              |
| 開催場所 | 小城市立歴史資料館 2階 研修室 |                              |
| 出席者  | 委員               | 山口委員長、秀島委員、中林委員、川副委員、山口（晶）委員 |
|      | 事務局              | 大野教育長、田久保課長、本村副課長、古庄、松尾      |
| 議事   |                  |                              |
| 欠席委員 | 小柳副委員長、野中委員、相川委員 |                              |
| 傍聴者  | なし               |                              |

### 【会議の公開・非公開について】

市の「審議会等の会議の公開に関する指針」に従い、公開で開催

| 発言者 | 内容   |
|-----|--|
| 委員長 | <p>それでは、議題に入る前に、高校部会から要望をいただいています。R10年に全国の書道の高校指導者の大会が佐賀で行われる予定です。これに合わせて書に関する行事・梧竹の紹介などできないだろうかとのことです。県にも相談が必要になるかと思います。</p> <p>現在の傍聴者0人です。</p> <p>それでは、次第に沿って進めていきます。議題1 令和7年度中林梧竹記念館事業報告について事務局から説明をお願いします。</p>   |
| 事務局 | <p>P1をご覧ください。1. 令和7年度中林梧竹記念館事業報告について説明します。</p> <p>まず、1. 中林梧竹記念館協議会についてですが、第1回を令和7年5月13日(火)14時00分から、歴史資料館研修室で開催しました。出席者は資料に記載している方々6人が出席されました。議題として、令和6年度事業報告についてと、令和7年度事業計画について審議をしていただきました。次に、第2回を今日開催しており、出席者が5人です。</p> <p>続きまして、2. 展示会について報告いたします。まず、令和6年度から引き続きですが、4月13日(日)まで「折節の書～梧竹カレンダー十年の歩み～」を開催しました。入館者</p> |

数は918人でした。次に、第1期を4月19日(土)から8月31日(日)まで、「梧竹の自作詩」の展示を行いました。梧竹は漢詩の名手であり、数多くの詩を残しています。今回の展示は自作詩を「書に対する思い」、「旅情」、「ふるさと絵の思い」「別離」「心境」に分けて展示を行い、自作詩に込めた梧竹の思いを紹介しました。入館者数は353人でした。次に、P2をご覧ください。第2期を9月6日(土)から11月30日(日)まで、「屏風の名品」と題して、梧竹が55歳から80歳代までの屏風の作品を展示しました。梧竹書の変遷と力強い筆の表現や繊細な筆の運び、様々な書体・表現を紹介しました。入館者数は309人でした。次に、第3期を12月6日(土)から翌年4月12日(日)まで、「一年一書」として展示を行っています。これについては、梧竹がいつごろ制作したものかわかる書を展示することで、書の変遷をたどることができるようにしています。

次に、P3をご覧ください。3. 梧竹翁顕彰事業についてご説明いたします。まず、(1)第33回書聖中林梧竹翁顕彰席書大会ですが、これについては、中林梧竹翁顕彰会に委託している事業になります。席書会につきましては、8月3日(日)会場をゆめぷらっと小城で開催しました。参加者は393人参加されました。また、例年同日に席書会の表彰式を行っていましたが、今回は、8月17日(日)に開催し表彰式を行っています。次に、(2)書に親しむ日についてですが、小中学校の夏休み期間中に、桜城館2階展示ホールで書道体験コーナーを設け、筆、墨、硯、紙を設置し、自由に書いてもらい書道を体験していただきました。次に(3)梧竹のデジタルミュージアムの拡充として、小城市ホームページに梧竹の作品の紹介を行っています。12月5日時点642件を公開し、累計閲覧件数が1,328,808件になっています。

次に、4. 資料収集ですが、毎年、中林梧竹に関する資料を購入、寄贈、寄託により収集を行っています。まず、寄贈を多久市の方から「静極是真源(せいきよくこれしんげん)」など3点、東京都の方から「梧図(あおぎりず)」など6点、大阪市の方から「四字額(よじがく)」など2点寄贈されました。次に寄託を「清貞(せいてい)」他寄託をされています。

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>次に、５．普及についてですが、（１）市内全小・中学校との連携として、梧竹記念館の見学を授業の一環として進め、梧竹に関する学習をしていただきました。今回は桜岡小３年の生徒さんに見学していただきました。</p> <p>令和７年度中林梧竹記念館事業報告は以上です。</p>  |
| 委員長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>議案１ 令和７年度中林梧竹記念館事業報告について事務局から説明をしていただきました。このことについて、何か質問はありませんか。</p>   |
| —   | 質問なし  |
| 委員長 | <p>それでは、議題２ 令和７年度中林梧竹記念館事業の今後の計画について事務局から説明をお願いします。</p>   |
| 事務局 | <p>令和７年度中林梧竹記念館事業の今後の計画について説明いたします。</p> <p>Ｐ５をご覧ください。</p> <p>１．展示会についてですが、事業報告でもご説明いたしましたとおり、第３期を１２月６日（土）から翌年４月１２日（日）まで「一年一書」を開催します。</p> <p>次に、２．梧竹翁顕彰事業についてですが、まず、小城市のホームページで閲覧できる梧竹のデジタルミュージアムについては、まだ未検討作品がありますので一定数集まったところで検討会を開催し、ホームページへの公開を行いたいと考えています。</p> <p>次に、３．資料収集についてですが、中林梧竹に関する資料を今年度も購入、寄贈、寄託により収集を行いたいと考えています。</p> <p>次に、４．普及についてですが、前年度に引き続き、市内全小・中学校との連携、他の博物館・美術館との連携・情報交換、団体等との連携、梧竹讃歌・甚句の普及に努めていきたいと考えています。</p> <p>令和７年度中林梧竹記念館事業計画について説明を終わります。</p> |

|     |  |
|-----|--|
| 委員長 | 今、事務局から議題2 令和7年度中林梧竹記念館事業の今後の計画について説明を受けましたが、このことに何か質問はありませんか。   |
| 委員長 | 顕彰事業の中で、デジタルミュージアム拡充について、未検討の作品数は。   |
| 課長  | 収蔵品で50点くらい。寄贈の話をいただいているのが80点ほど。受け入れすれば合計130点程度になる。R7は予算がないため、R8年度で検討実施をしたいと考えている   |
| 委員長 | 寄贈が多いのはうれしいこと。検討してHP公開するのも寄贈者への謝辞になると思う。ぜひ予算を組んで検討していただきたい。県内でいえば高校部会の協力を得る、活用してもらうことも梧竹の普及になると思う。出張等もしやすいと思う。ぜひ検討を。<br>席書会について、前にも言ったが、市で予算組んでもらっており、参加費も値上げしているが、物価上昇により赤字が出ている（昨年、今年）。会場の都合で表彰式を同日にできないとなれば、役員の旅費もかかる。できれば助成額を上げること検討してほしい。参加者の子どもたちからこれ以上（参加費を上げて）徴収は難しい。<br>梧竹カレンダー展の入館者数がほかの展示会より3倍ある。これは小学校等の団体見学の影響か |
| 課長  | そのとおり。この時期は学校見学が多い（くらしのうつりかわり展など）。   |
| 委員長 | 小城町内からだけでなく、三日月、牛津、芦刈からも見学来てもらえるよう検討広げてほしい。市のバスを活用するなど。  |
| 課長  | 小学3年生については市内全小学校から来館している。  |
| 委員長 | 来年も今年と同じ時期に席書会となると思う。引き続き文化課の協力をお願いしたい。  |
| 課長  | 予定日の情報もらって、文化課で会場予約したいと思う（ゆめぷらっと想定？）。  |
| 委員長 | それでは、議題3 中林梧竹生誕200年事業について事務局から説明をお願いします。   |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>議題3 中林梧竹生誕 200 年事業についてご説明いたします。</p> <p>令和8年度は、中林梧竹の生誕 200 年の前年に当たります。また、千葉県千葉市で千葉開府 900 年として千葉氏をクローズアップする取り組みが計画されています。</p> <p>このような中で、令和8年度は、中林梧竹記念館、歴史資料館では中林梧竹生誕 200 年に向けての取り組み、千葉開府 900 年に伴う千葉氏の再認識の機会としたいと考えています。</p> <p>令和8年度9年度スケジュールをご覧ください。</p> <p>中林梧竹記念館では、令和8年度4月から、梧竹の若い頃の作品を紹介し、6月から9月は中林梧竹記念館常設展示室で千葉氏を紹介する展示を行い、企画展示室で梧竹作品を紹介します。10月、11月は生誕 200 年のプレ展示として「梧竹の書をみてみよう」と題して、中林梧竹記念館常設展示室にて収蔵品の紹介を行います。会期中、講演会・フィールドワークを予定しております。</p> <p>令和9年1月2月は「作品にみる梧竹の足跡」として、梧竹が全国各地を旅したことを示すような作品を紹介します。会期中講演会・フィールドワークを予定しております。</p> <p>令和9年3月から6月にかけて生誕 200 年記念として梧竹堂法帖と梧竹作品を紹介する展示を行います。前期、後期としておりまして、前期は梧竹堂法帖と館収蔵作品から、後期は梧竹堂法帖と借用作品の展示を考えております。後期の会期中で講演会の開催を考えております。夏休み期間中には、書に関する体験のイベントも考えています。</p> <p>9月から12月は、佐賀県内の高校の協力を得まして、高校生が選ぶ梧竹作品の紹介を行ないたいと考えています。例年秋に開催しております佐賀大学と小城市の交流事業は「梧竹の時代」をテーマとした展示会を佐賀大学にも提案していきたいと思います。会期中、記念講演会、梧竹関連のフィールドワークを計画しております。</p> <p>翌令和10年1月から3月は、「梧竹をめぐるひとびと」として梧竹と親交のあった人物にまつわる作品の展示を行いたいと考えています。会期中フィールドワークを予定しております。</p> <p>令和10年は、「梧竹・蒼海」と並び称されるし副島蒼海の生誕 200 年にあたる年であります。中林梧竹記念館で収蔵する蒼海作品 10 点程度を紹介し、蒼海生誕 200 年に繋げていきたいと考えています。</p> |
|-----|---|

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>来年、再来年の予算が確定していない中ですので、現在の予定としては、以上のように考えているところです。</p> <p>以上、説明いたします。</p>   |
| 委員長 | <p>それでは、議題３中林梧竹生誕 200 年事業について事務局から説明を受けましたが、このことに何か質問はありませんか。</p>  |
| 委員長 | <p>スケジュールに従ってより盛り上がるようお願いしたい。特に高校生が選ぶ梧竹について、R9 の５～６月ころまでに高校生に選んでもらう必要がある。これを通して、より梧竹作品を活用してくれるようになるのではないかと。いい企画だと思うので、ぜひ成功するよう頑張してほしい。</p> |
| 委員長 | <p>質問はよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、議題がすべて終わりました。皆さまの協力のおかげで、無事終わることができました。ありがとうございます。</p> <p>事務局へお返しします。</p>                                     |
| 課長  | <p>その他について、R8 年度の協議会について、１回目は５月ころ予定している。可能であれば３回協議会を開き、生誕 200 年に向けて協議をお願いしたい</p>   |
| 教育長 | <p>今年度の協議会は今回が最後だが、今年度まだあるので、気付き等あれば文化課へ連絡いただきたい。R 8 年度についてはまだ予算が確定していない中での説明をしている。委員の皆さんの意見・アイデア等協力をお願いしたい。</p>                           |